

アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業の取組み

長崎県平戸市

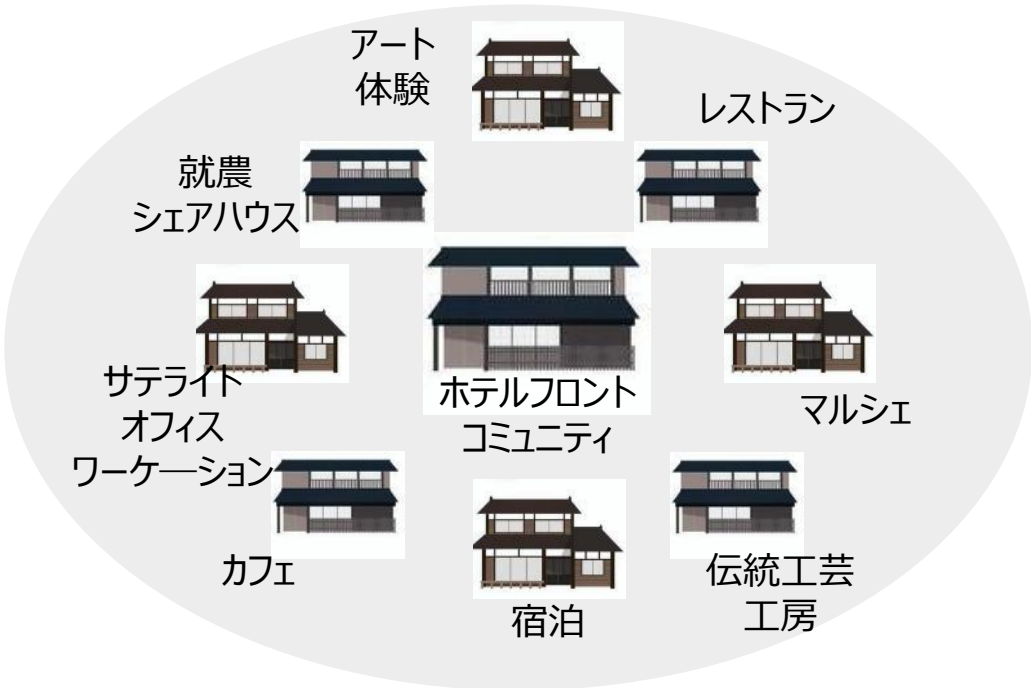
H I R A D O C I T Y

アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業

■アルベルゴ（宿）・ディフーゾ（分散された）とは

地域に分散された**未活用の建物**や**空き家・空き店舗**を活用し、建物単体ではなく地域一帯をホテルと見立てた**イタリア発祥**の取り組み。
地域集落にある建物や空き家をホテル機能であるフロント、宿舎、レストラン等に見立て、「面」と「面」にて滞在回遊できる「分散型ホテル」を目指す。

アルベルゴ・ディフーゾタウンのイメージ



施設	用途	関係者
古民家 空家 宿泊施設 飲食店	宿泊施設	ホテル運営者
	カフェ レストラン	シェフ、パティシエ、 バリスタ等
	工房・ ギャラリー	アーティスト 工芸作家
	オフィス	NPO、プログラマー、デザイナー
	体験施設	書道、武道、茶道、華道など
	コミュニティー施設	地域住民、まちづくり協議会

これまでの問題点や課題

point1 人口減少問題

- ✓人口減少による地域経済の低下
- ✓地域の担い手の減少 など

point2 空き家・空き店舗問題

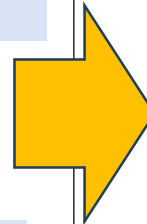
- ✓空き家、空き店舗の増加
- ✓商店街のシャッター街、駐車場増加 など

point3 観光客数の減少・魅力の創出

- ✓各地域への観光地経営への競争
- ✓コロナ禍以降、観光客数の減少 など

point4 地域資源の更なる活用

- ✓街並み環境整備された平戸城下町エリア
- ✓大島村神浦地区「伝統的建造物保存地区」
- ✓無電柱化事業、ほの灯り など



新たな観光地経営が必要
(アルベルゴ・ディフーゾタウン)



町屋の外壁などがライトアップされ、昼間とは違う景観が創出された街並み＝平戸市崎方町

アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業

(これまでの主な取組)

No	期日	件名	備考
①	令和4年12月	「日本初のアルベルゴディフィーゾタウン」 スタートアップ認証自治体に選定	
②	令和5年6月	観光庁の調査事業採択 ①空き家調査②アルベルゴ・ディフーゾタウン計画書の 策定③住民説明会・ワークショップなど	
③	令和6年5月	「平戸市アルベルゴディフィーゾタウン」計画書の策定 モデル地区3地区設定、今後の開発計画など	
④	令和6年5月末	観光庁「歴史的な資源を活用した観光まちづくり補助 金」の採択	
⑤	令和6年9月	改修に向けた事業開始	
⑥	令和7年3月	改修を終え、順次開業へ (令和7年4月以降)	

アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業

アルベルゴ・ディフーゾタウンに向け、地域の空き家等の利活用を促進するために、モデル地区の選定を行い、先行的な開発を行いながら事業推進及び観光振興を図る。



【重点モデル地区】①平戸城下町エリア

平戸市街地の中心部であり、長崎県「美しいまちづくり重点地区」および平戸市「街なみ環境整備事業」にて町屋の修景・保存や無電柱化された地区。市街地の中心地として商店街の空き家等の活用対策として選定。



【モデル地区】②田助地区エリア

平戸港の副港として栄えた地域。昔ながらの町屋（文化財）が残る港町。漁村地域のモデル地区として選定。

【モデル地区】③大島村神浦地区エリア

大島村神浦地区（国：伝統的建造物群保存地区）
現在でも江戸時代中期から昭和初期までの建物が、道の屈曲に沿うように建てられていることも特徴の一つです。
離島の活性化のモデル地区として選定。

アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業



【重点モデル地区】
平戸城下町エリアのゾーニング

開発状況（R7年3月末予定）

城下町エリア		件数（内開設）
宿泊施設		3件（1件）
飲食施設		4件（1件）

朱書きの部分がR6改修物件

アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業

お土産⇒宿泊棟や賑わい創出へ
新たな町屋の拠点

400年前の黒松を
使った建物

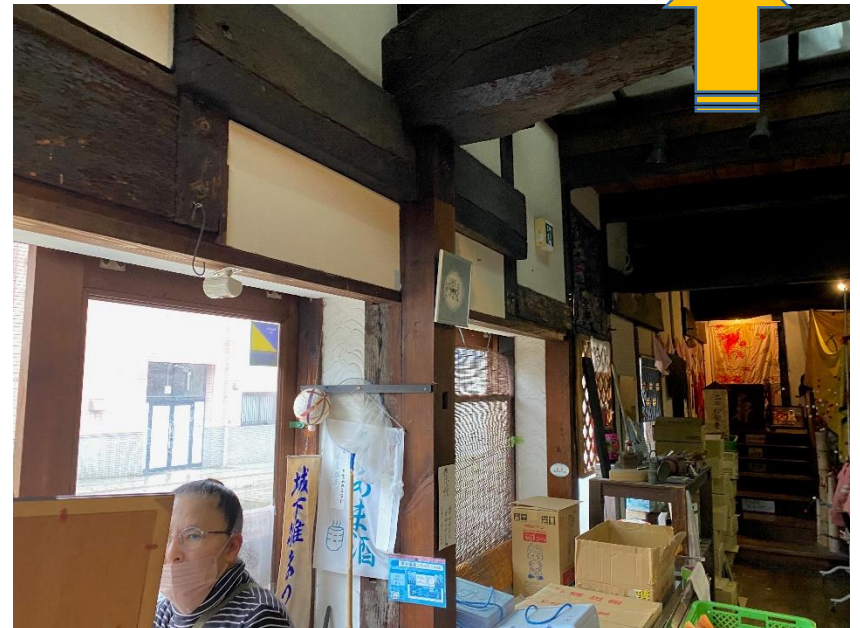
改修イメージ

①（仮称）婆娑羅

レセプション機能、物販・カフェ
宿泊棟（2カ所）、イベント広場など



アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業



アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業

【重点モデル地区】平戸城下町エリアでの推進体制イメージ図

